

(別紙様式)

平成25年度魅力ある学校づくり調査研究事業ブロック協議会資料

都道府県・政令指定都市教育委員会名〔神奈川県〕

1 拠点校及び連携校

区 分	学 校 名	学級数	児童生徒数
拠点校（中学校）	小田原市立城北中学校	15（2）	456
連携校 （拠点校中学校区 内の小学校）	小田原市立桜井小学校	20（2）	603
	小田原市立報徳小学校	14（2）	285
		（ ）	
		（ ）	

※学級数の（ ）には、特別支援学級数を内数として記入

※学級数及び児童生徒数は平成25年5月1日現在で記入

2 意識調査（アンケート共通項目）（％）

学校種	学年等	実施時期	児童生徒数 (人)	ア 学校が楽しい				イ みんなで何かをするのは楽しい				ウ 授業に主体的に取り組んでいる				エ 授業がよくわかる			
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学年計	前年①	453	53.0	38.0	7.9	1.1	59.2	32.7	7.3	0.8	25.6	61.1	11.7	1.6	28.3	55.6	15.0	1.1
		前年②	441	51.9	36.7	8.2	3.2	59.9	29.7	6.6	3.8	24.5	60.1	12.7	2.7	25.4	55.3	15.6	3.7
		本年①	443	51.2	37.5	8.8	2.5	61.4	31.8	5.0	1.8	27.1	60.7	10.4	1.8	29.6	55.3	14.2	0.9
	3	中2①	141	45.4	40.4	12.8	1.4	51.8	36.9	9.2	2.1	17.0	63.1	16.3	3.6	18.4	58.9	20.6	2.1
		中2②	139	47.5	42.4	7.2	2.9	53.2	36.0	7.9	2.9	21.6	64.0	13.7	0.7	23.7	53.2	20.1	3.0
		中3①	138	47.1	39.1	11.6	2.2	60.1	32.6	5.8	1.5	23.2	68.1	8.0	0.7	23.2	60.9	15.9	0
	2	中1①	174	60.3	33.3	5.7	0.7	64.9	29.3	5.7	0.1	28.2	63.8	7.5	0.5	44.8	48.9	6.3	0
		中1②	167	58.7	31.1	6.6	3.6	64.1	24.6	7.8	3.5	31.1	55.7	10.2	3.0	30.5	60.5	5.4	3.6
		中2①	172	47.1	41.3	7.0	4.6	58.7	32.6	5.8	2.9	34.9	53.5	9.3	2.3	27.3	55.2	16.3	1.2
	1	小6①	142	36.6	33.8	16.2	13.4	50.7	23.9	11.3	14.1	26.1	40.8	26.1	7.0	29.6	37.3	19.0	14.1
		小6②	146	50.0	45.2	4.1	0.7	65.1	31.5	3.4	0	32.4	44.1	21.4	2.1	47.9	37.7	13.7	0.7
		中1①	133	60.9	30.8	8.3	0	66.2	30.1	3.0	0.7	21.1	62.4	14.3	2.2	39.1	49.6	9.8	1.5
小学校	高学年計	前年①	294	46.3	34.4	12.2	7.1	67.0	19.0	7.1	6.8	30.3	43.9	20.1	5.8	38.1	38.8	15.0	8.2
		前年②	294	53.4	39.5	5.4	1.7	69.7	26.5	3.8	0	32.1	49.1	17.4	1.4	49.7	38.4	10.9	1.0
		本年①	252	59.1	33.3	6.3	1.3	80.2	17.1	2.0	0.7	40.1	48.8	10.3	0.8	54.8	38.5	4.8	1.9
	6	小5①	152	55.3	34.9	8.6	1.2	82.2	14.5	3.0	0.3	34.2	46.7	14.5	4.6	46.1	40.1	11.2	2.6
		小5②	148	56.8	33.8	6.8	2.6	74.3	21.6	4.1	0	31.8	54.1	13.5	0.6	51.4	39.2	8.1	1.3
		小6①	148	64.9	29.7	4.1	1.3	85.8	12.8	1.4	0	41.9	49.3	8.8	0	62.8	34.5	2.7	0
	5	小5①	104	51.0	38.5	9.6	0.9	72.1	23.1	2.9	1.9	37.5	48.1	12.5	1.9	43.3	44.2	7.7	4.8

学校種	学年等	児童 生徒数 (人)	オ 叩かれたり、け られたり、強く押されたりした				カ 暴力ではないが、いじわるをさ られたり、イヤな思いをさせられた				キ 叩いたり、けったり、強く押し たりした				ク 暴力ではないが、いじわるをし たり、イヤな思いをさせた			
			1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学年計	443	79.9	16.0	2.7	1.4	77.2	16.0	3.4	3.4	78.3	17.4	2.7	1.6	77.7	19.0	2.5	0.8
	3年	138	84.8	9.4	4.3	1.5	86.2	10.9	0.7	2.2	87.0	10.9	2.1	0	84.1	15.9	0	0
	2年	172	79.1	19.2	1.2	0.5	72.1	19.2	5.9	2.8	76.7	19.2	2.3	1.8	74.4	22.7	2.3	0.6
	1年	133	75.9	18.8	3.0	2.3	74.4	17.3	3.0	5.3	71.4	21.8	3.8	3.0	75.2	17.3	4.5	3.0
小学校	高学年計	298	58.1	16.8	15.8	9.4	49.7	19.8	18.5	12.1	65.4	18.8	11.7	4.1	58.6	23.6	13.8	4.0
	6年	148	52.0	16.2	20.9	10.8	47.3	19.6	20.9	12.2	62.2	19.6	14.9	3.3	56.5	24.5	16.3	2.7
	5年	150	64.0	17.3	10.7	8.0	52.0	20.0	16.0	12.0	68.7	18.0	8.7	4.6	60.7	22.7	11.3	5.3

※小学校は連携校の合

※実施時期の第1回(①)は5月ごろ、第2回(②)は12月ごろに実施

※「オ」～「ク」の項目の調査は平成25年度から実施

3 課題・目標・取組

課題	学習への不安や、人間関係づくりが苦手で充実感を感じることができず、学校生活にうまく適応できない児童・生徒がいる。
目標	豊かな人間関係を育み、望ましい生活習慣と学習習慣を身につけ、児童・生徒が充実感や達成感を味わい、自己有用感を高める。
取組	よりよい授業づくり、学級づくりの推進、小中連携による生活・学習習慣の定着、そして学校行事の充実を図る。

4 意識調査結果の分析

(1) 好ましいと思われる事項

小・中 共通	・「みんなで何かをするのは楽しい」においては、小・中共に数値が伸びている。
中学校	・「みんなで何かをするのは楽しい」において当てはまると答えた生徒は全体的に昨年度よりも増えており、3年生では7%前回よりも数値が上がっている。 ・「授業に主体的に取り組んでいる」において当てはまると答えた生徒は全体的に昨年度よりも増えており、2年生では3%、3年生では2%前回よりも数値が上がっている。
小学校	・すべての項目において数値が上がっている。特に「みんなで何かをするのは楽しい」においては10%以上伸びている。

(2) 好ましくないと思われる事項

小・中 共通	・様々な面から、教師側は授業改善を進めてはいるが、児童・生徒は“主体的”という面では、伸び悩んでいる。
中学校	・「授業がよくわかる」においては、昨年度全学年との比較で4%上昇しているが、学年別推移でみると全ての学年で減少しており、学年が進むにつれて数値が下がっている。
小学校	・他の項目に比べ、「授業に主体的に取り組んでいる」の項目が伸び悩んでいる。 ・いじめ調査では、多くの児童が「やられたことがある」という意識を持っている。

			校内研究公開授業 学習指導研修会【小中合同】 市教育委員会訪問	○ ○ ○
7月	集団宿泊的学習（5年） ふれあい集会（報徳小） 授業参観日・公開授業参観 （報徳小） 校内研究授業（桜井小）	○ ○ ○ ○	幼保小中一体教育研究会（学習） 【小中合同】 第4回小・中連絡協議会 【小中合同】 保育園との交流 （バスケット栽培） 生徒による授業評価①（全学年） スクールボランティア（大掃除） サマースクールによる学習支援 第5回小・中連絡協議会 【小中合同】 市教育委員会訪問	◇ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ◇
8月	校内研究研修会（報徳小） 校内研究研修会（桜井小）	○ ○	地域ミニ集会 第6回小・中連絡協議会 【小中合同】 第7回小・中連絡協議会 【小中合同】 教職員合同研修会【小中合同】 第8回小・中連絡協議会 【小中合同】 第9回小・中連絡協議会 【小中合同】 市教育委員会訪問	◇ ○ ◇ ○ ◇ ◇ ○
9月	児童による授業評価（全小） 運動会（桜井小）		第6回小・中連絡協議会 【小中合同】 保育園との交流（合同防災訓練） 市教育委員会訪問	○ ○ ○
10月	学習参観週間・公開授業（全小） 校内研究授業（報徳小） 校内研究授業（桜井小）		第7回小・中連絡協議会 【小中合同】 第2回魅力ある学校づくり 調査研究委員会【小中合同】 小・中交流（陸上支援） 小・中交流（合唱コンクール リハーサル見学） 合唱コンクール 学校へ行こう週間（全学年） 保育園との交流 （どんぐりひろい） 東部地区ブロック協議会[茨城] 【小中合同】 魅力ある学校づくり調査研究事 業 研究発表会・公開授業【小中合同】 市教育委員会訪問	
11月	鑑賞教室（桜井小） 校内研究授業（報徳小） 校内研究授業（桜井小）		第8回小・中連絡協議会 【小中合同】 市販の検査（全学年） 授業参観日	
12月	学習発表会（報徳小） 市販の検査（全小） 第2回意識調査（全小5・6年） 親子ふれあい球技大会&芋煮会 （報徳小） ふれあい集会（桜井小）		第9回小・中連絡協議会 【小中合同】 第2回意識調査（全学年） 生徒による授業評価②（全学年） 保護者向けアンケート （学校評価） 市教育委員会訪問	
1月	児童による授業評価（全小） 尊徳カルタ会（桜井小）		第10回小・中連絡協議会 【小中合同】	

	校内研究授業（報徳小） 校内研究授業（桜井小）		幼保小中一体教育研究会 （児指・生指・学習・支援・地域） 【小中合同】 中学校見学（全小・6年）
2月	取組のまとめ（全小） 授業参観（全小） 6年生を送る会（報徳小）		第11回小・中連絡協議会 【小中合同】 取組のまとめ・リーフレット作成 第2回連絡協議会[東京] 【小中合同】
3月	6年生を送る会（桜井小） 新入生連絡会議（全小）		第12回小・中連絡協議会 【小中合同】 中学校体験入学（全小・6年） 第3回魅力ある学校づくり 調査研究委員会 【小中合同】 研究のまとめ、実践報告 新入生連絡会議

（2）8月末までに実施した具体的な取組

〔小・中共通〕

①コミュニケーション能力の向上を念頭にした授業改善を進め授業力を向上させる。

*「魅力ある学校づくり」公開授業（幼保小中一体教育研究会）

・報徳小学校全学級が「学習課題をはっきりさせた『わかる授業づくり』」の公開授業を行い、それを城北中学校区の幼稚園、保育園、小中学校教員、そして地域の方々に見て戴き、そのあと学習指導分科会、児童・生徒指導分科会、支援教育分科会に分かれて意見交換をした。

・学習指導分科会では、「わかる授業とは・・・」ということを中心に話し合った。そのなかで、「わかる」をどうとらえるかという議論になり、結果、発達の段階によって「わかる」の度合いが違う、という共通理解となった。

・児童・生徒指導分科会では、「城北中学校区で大切にしていること 生活・学習共通のルール」をどのように徹底していくかについて話し合われた。結果として、「ルールの徹底には段階があり、まずは発達の段階に応じて納得させることから始まり、それから手法を考えさせる。」ということの繰り返し指導、声掛け、ほめるということをもとに行うことになった。

・支援教育分科会では、「子どもと教師の信頼関係」がまず第一であり、叱るときは叱り、ほめるときはほめるというメリハリが大切であるという話し合いになった。また、子どもたちは敏感であり、教師の人間性がポイントとなる、との話し合いができた。

*「わかる授業」の構築に向けた共通理解と実践

・昨年度後半より、3校の研究推進担当を中心とし、「わかる授業」について共通の柱を設定して定義づけを行った。そこでは「わかる授業」とは、『学び合いを通して自己が成長したことを実感できる授業』と捉え、その実現に向けて、【基礎基本の充実】・【主体的な学習】・【コミュニケーション能力の育成】の3つをふまえた授業実践の推進を図ることとした。これはそれぞれの校内研究に〈魅力ある学校づくり〉の視点を関連させながら、より充実をめざすものである。

・幼保小中一体教育研究会で取り上げられた【授業改善の10のポイント】について、今後の授業の中で意識して取り組む方向が確認できた。また、8月の合同研修会における、『小・中連携を通して9年間を見通した学習指導のあり方』～確かな学びと豊かな心を育む小中連携・一貫教育～をテーマとした講演の中でも、授業改善のポイントのより具体的な手立てについて研修を行い、教職員の意識が高められた。

②小中連携による9年間を見通した生活指導や学習指導の定着を図る。

*リーフレットの効果的活用

・昨年3校の児童・生徒生活指導担当を中心に、教職員が大切にしていることを吸い上げ幼保小中一体教育のグランドデザインにある、【育てたい子どもの姿】をふまえながら発達の段階に応じて9年間を見通したルールづくりを行い、リーフレットの中に《城北中学校区で大切にしていること 生活・学習共通のルール》を掲げた。これを、児童・生徒への説明や意識づけおよび校内掲示を通して授業規律の啓発を図り、定着に向けた指導を行うとともにPTA、評議員会、自治会などに配布し周知徹底を図った。



〔中学校〕

①生徒の実態に即した「わかる授業」の構築に向け、授業形態や展開を工夫する。

*校内研究の充実

- 各教科で生徒の実態を把握したり、『学び合いを通して自己が成長したことを実感できる授業』のための具体的な手立てや重点項目を明らかにしたりしながら、授業形態や展開、教材の工夫についての取り組みを推進している。また、意識調査項目の結果より「授業がわかる」ための手立てとして「基礎基本」の大切さを重視し『城北タイム』（テスト前補習）を希望する生徒に実施した。校内研究を通じて共通理解を図り実践していくため、6月には2教科を公開して研究協議を行い、その後も全員が授業公開して授業改善に努めていく予定である。
- 10月に行う「魅力ある学校づくり」研究発表会では、全クラスの授業公開を予定しており、指導案の形式等については指導主事に指導助言を頂き作成している。指導案の中には3校共通の柱はもちろん、幼保小中一体教育研究会の分科会で紹介された【授業改善の10のポイント】についてこれからの授業でどのポイントを意識して取り組んだらよいかを明確にし、3つの柱と関連付けながら盛り込んでいくこととした。

②仲間と共に、目標や課題意識を持って、主体的に参画できる活動を充実させる。

*学校行事の充実

- 運動会や修学旅行・校外学習などの行事を通して生徒が充実感・達成感を味わい、自己有用感を高められることをねらいとし、行事の目標や課題意識をしっかりと持たせた。また、実際に行事を通して生徒の変容を見るために、行事後の作文や感想だけでなく、事前事後のアンケートを行った。さらに、生徒が充実感や達成感を味わい自己有用感を高められるような、意識的なはたらきかけを行い、結果として、実行委員等を中心とした主体的な取り組みを行うことができた。

*地域との交流活動

- 「花いっぱい運動」や「クリーン酒匂」「幼稚園・保育園児との交流」「地域ミニ集会」では校外の方々や活動することで人とのつながりや接し方、地域の一員としての自覚を持つことができ、自己有用感を高めることができた。また「地域ミニ集会」では【防災】をテーマに地域の方と意見交換し、多くを学ぶことができた。

*仲間づくり・集団づくりプログラム

- 不登校の未然防止に向けた、人間関係づくりの促進を目的とし臨床心理士を講師に迎えて実施した。仲間をつくるコツをつかむことができ、周りに関わり合いながら楽しんで取り組んでいた。これは授業や集会でも雰囲気づくりや導入などに生かしている。

〔小学校〕

②児童の実態に即した「わかる授業」を推進する。

<わかる授業>

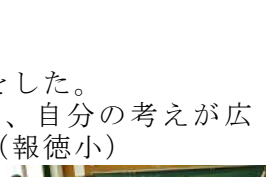
*直接体験の場を大切にしたり身近な課題を設定したりすることで、子どもたちが五感を働かせ主体的に課題に取り組めるようにした。

(報徳小)

- 子どもが知りたい、解決したいと考える導入や単元構成を考えた。
- 子どもの思いを活かした課題の設定、調査活動、実験観察などの工夫をした。
- さらに、自分の気づきを友達と交流し合うことで、新しい発見をしたり、自分の考えが広がったりすることによって、実感を伴った理解がなされるようにした。(報徳小)
- 自分の思いや考えを伝えられるようにするための方法の工夫をした。(モデル図を書く、写真の利用、付箋を使った交流方法の工夫など)
- 単元の系統性を意識し、既習事項が子どもの思考や表現に活用できるようにした。

*授業の中での自己有用感を高めることにより、学校がますます楽しくなった。(報徳小)

*自分の思いや考えを持たせ、まとめるための工夫をした。(桜井小)



- ・ワークシートを活用すると自分の読みを豊かに書くことができた。
- ・クライマックスの文をさがすという課題により、読みを深めることができていた。

- *思いや考えを引き出し、関わらせるための工夫をした。(桜井小)
- ・個で考える場面、ペアで考える場面などを、学習の目的によって活用していくと有効であった。
- ・聞きあいを重視した学習展開がされていた。

*学び支える日常活動 (桜井小)

- ・話す・聞く時のルールを定め、各教室に掲示して指導の徹底を図った。

③異学年交流を基盤とした学校生活の充実を図る。

- *運動会での縦割り班をもとにした色別対抗の運営により縦割り集団の結束が深まった。(報徳小)

*ふれあい集会の開催 (報徳小)

- ・6年生を中心に1年生から6年生の縦割り集団で出し物を考え、協力して準備をし自分たちのお店を作って運営した。また、交代制で縦割りグループごとに他のお店を見て回った。この活動を通して、下級生は上級生に対して信頼を深め、上級生は自己有用感を高めることができた。

*縦割り班清掃の実施 (報徳小)

- ・縦割り班清掃により、全校の児童が協力をして活動をする基礎基本を学んでいる。これは、上級生が下級生の手本となり、リーダー性を磨くとともに、異学年の児童がお互いにコミュニケーションを取り合うことで学校生活に楽しみが増す活動となるように指導をしている。そして、毎日のふれあいが様々な縦割り集団での活動に生きるようにしている。

*学校保健委員会 (報徳小)

- ・縦割り集団での話し合い活動をもとに「早寝、早起き、朝ご飯！」の大切さを学んだ。

*なかよし班遊び (桜井小)

- ・1年生から6年生までが所属する縦割り班「なかよし班」を編成し月に1回なかよし班で遊ぶ日を決めて活動しているが6年生は責任感と自覚が芽生えてきている。また、下級生も活動を楽しむとともに、他の学年の子どもとの交流を深めることができた。

*なかよし班交流集会 (桜井小)

- ・なかよし集会委員会がなかよし班の交流を深めることを目的に集会を開催した。9月に予定されている運動会で行われる「なかよし種目」の競技を体験させて競技の特徴を知らせるとともに、よりスピーディーに活動するための工夫や協力について考えるきっかけになった。



7 8月末までの取組状況と課題 (第1回意識調査結果を踏まえた内容を含む)

(1) 順調に進んでいる事項

小・中 共通	②小中連携による9年間を見通した生活指導や学習指導の定着
中学校	①生徒の実態に即した「わかる授業」の構築に向けた、授業への主体的な取り組み ②仲間と共に、目標や課題意識を持って主体的に取り組んだ学校行事や地域交流などの充実
小学校	②「わかる授業」の構築 ③異学年交流を基盤とした学校生活の充実

(2) 課題となっている事項

小・中 共通	①「わかる授業」の更なる推進 ②9年間を見通した生活指導や学習指導の定着に向けた更なる取り組み
中学校	①生徒に、「授業がわかる」と実感できるようにさせるための取り組み

小学校	②「授業がわかる」と思える児童や「学校が楽しい」と思える児童の更なる増加
-----	--------------------------------------

8 9月以降の重点推進事項

小・中 共通	<ul style="list-style-type: none"> ・「わかる授業」に向けての研究 ・9年間を見通した生活指導や学習指導の定着に向けた更なる取り組み
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究を通じた授業改善をさらに進め、「わかる授業」の構築に向けた授業力の向上
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動を重視し「わかる授業」の構築をめざした教職員自らの研鑽 ・異学年集団の活動をはじめ、いろいろな行事を通じた更なる学校生活への充実感

9 教育委員会の取組

(1) 市町村教育委員会

〔重点推進事項〕

- ・小中連携を見通した生活指導や学習指導の体制づくりや、授業改善へ向けた支援
- ・本調査研究の成果の市内への情報発信に向けた支援

〔成果と課題〕

- 県教育委員会とともに、共同研究者としての意識を常にもち、3校のパイプ役として研究に積極的に関わることで、3校の連携強化を図ってきた。
- 校内研究に積極的にかかわり、講師の紹介や指導案の形式などへの助言とともに、授業研究における指導・助言を行うことで、共通実践に向けた体制が徐々にできてきた。
- 研究発表会へ向け、当日のあり方について協議し、市内全小中学校への発信体制を整えてきた。
- 校内研究担当者とも連携を図り、組織的な対応を目指してきており、一層の充実を目指す。
- リーフレットの有効的な活用を目指した具体策の検討をする。

(2) 都道府県教育委員会

〔重点推進事項〕

- ・本研究調査事業の2年間のまとめとして、拠点校・連絡校の活動や小田原市教育委員会の取組みをできる限り指導、支援していく。
- ・本調査研究事業の成果を管内の学校、県内の学校に情報発信し、「魅力ある学校づくり」による不登校の未然防止の視点やその取組みを広めていく。

〔成果と課題〕

- 小田原市教育委員会とともに、1年目に課題となったことに対する具体策について、助言を行ったことで、研究の方向性が明確になり実践に結びついている。
- 校内研究会へ積極的にかかわり、わかる授業についてだけでなく、指導案の形式や協議会等授業づくり全般にわたって指導・助言することにより、職員一丸となって研究を進めていこうという意識を高めていくことができた。
- 他地区への情報発信の仕方について

10 関連URL（※本事業に関連するものがあれば、ご紹介ください。） 特になし

【問い合わせ先】

所属	神奈川県教育委員会教育局支援部 子ども教育支援課	電話	(045) 210-8292		
職名	指導主事	氏名	櫻井 英明	よみがな	さくらい ひであき